2027年3月期第2四半期
決算補足説明資料

2026年10月30日

株式会社日本ケアサプライ

東証スタンダード　2393

2027年3月期第2四半期の決算ハイライト

長期ビジョンに基づき、福祉用具サービスの更なる強化
高齢者生活支援サービスは、社会の課題に的確に対応

■福祉用具サービス
・地域ごとの特性に応じた営業活動の展開
・レンタル資産の積極的な投入および、効率的な運用を図る
・介護施設への商品ラインアップを強化、販売・サービスを拡販

■高齢者生活支援サービス
・食事サービスでは、今後の受注拡大に向け、ECサイトの構築による基盤強化等の各種施策を実施
・「バランス弁当」の認知度向上のためのプロモーション活動等を実施

■その他
・拠点展開は、今期も都市部を中心に新規開設や既存拠点の大型化に向けた移転を推進

2027年3月期第2四半期の決算ハイライト（前年同期比）

福祉用具サービスが堅調に推移し、前年同期比は増収増益

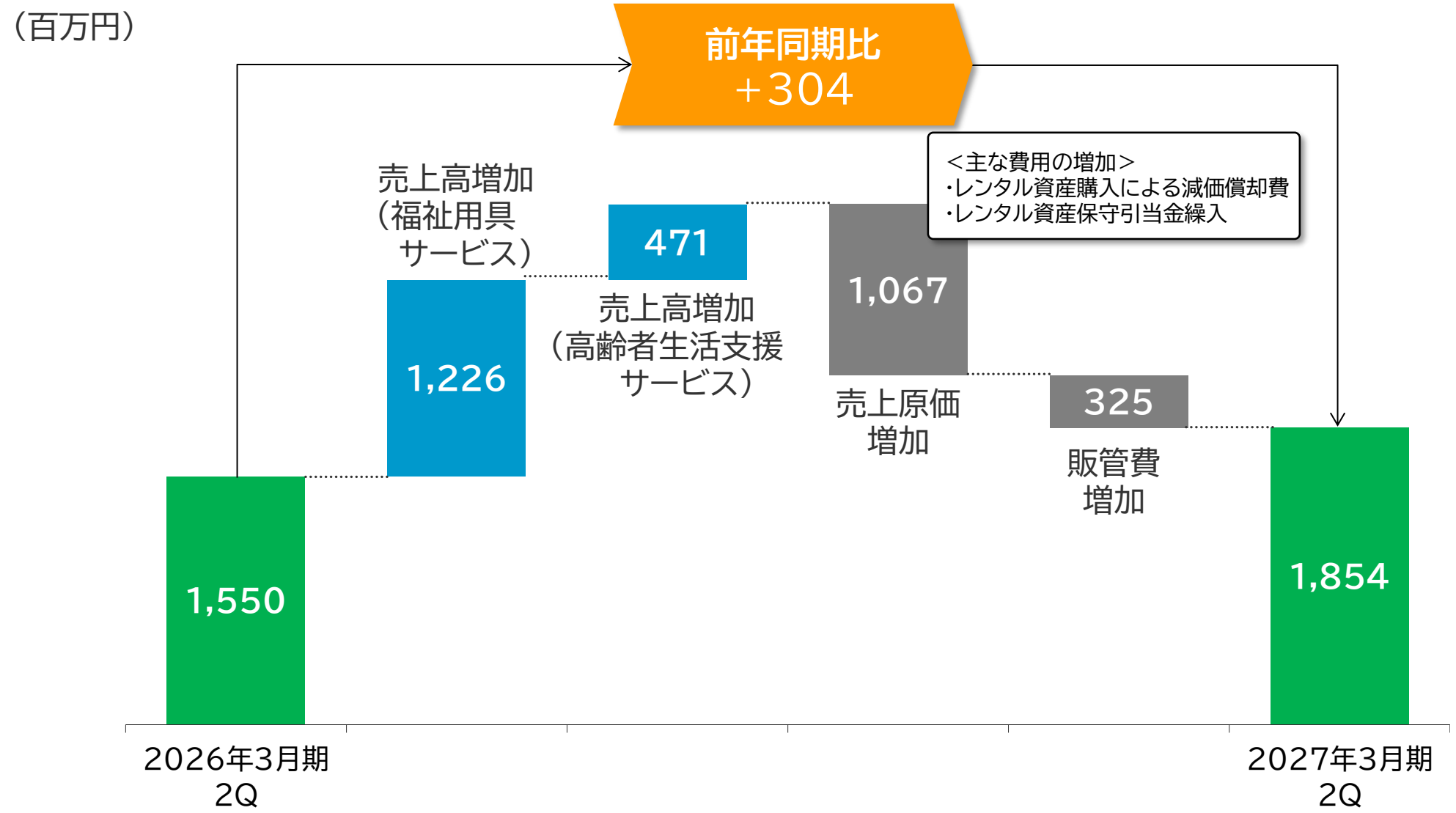
（百万円）

	2026年3月期 第2四半期	2027年3月期 第2四半期	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	17,088	18,785	1,697	+9.9%
営業利益	1,550	1,854	304	+19.6%
経常利益	1,570	1,869	299	+19.0%
純利益※1	1,046	1,231	184	+17.6%
EBITDA※2	5,179	5,648	469	+9.1%

※1　親会社株主に帰属する当期純利益
※2　経常利益＋支払利息＋減価償却費

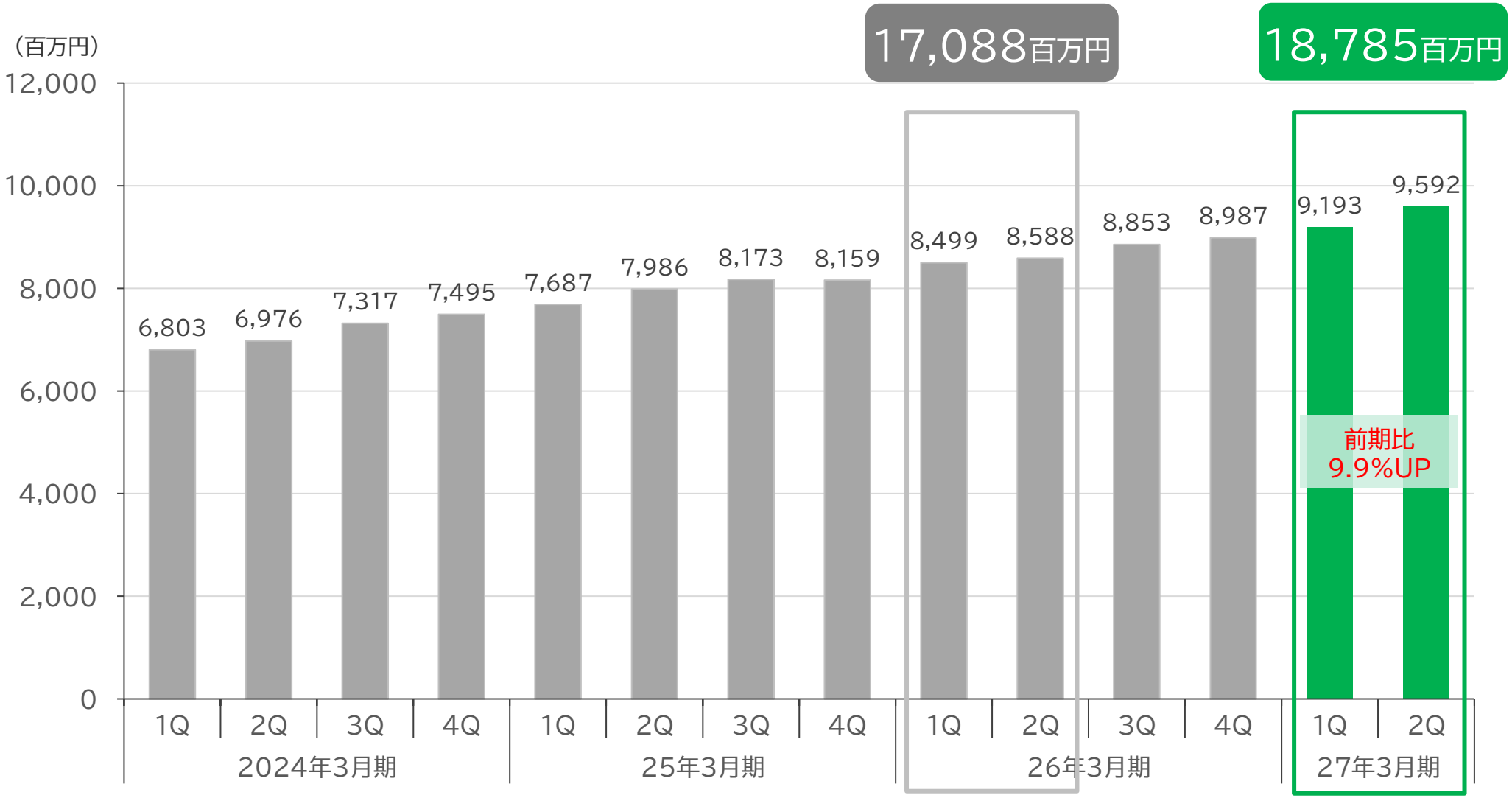
営業利益の増減要因(前年同期比)

増収効果やレンタル資産の効率的運用により増益



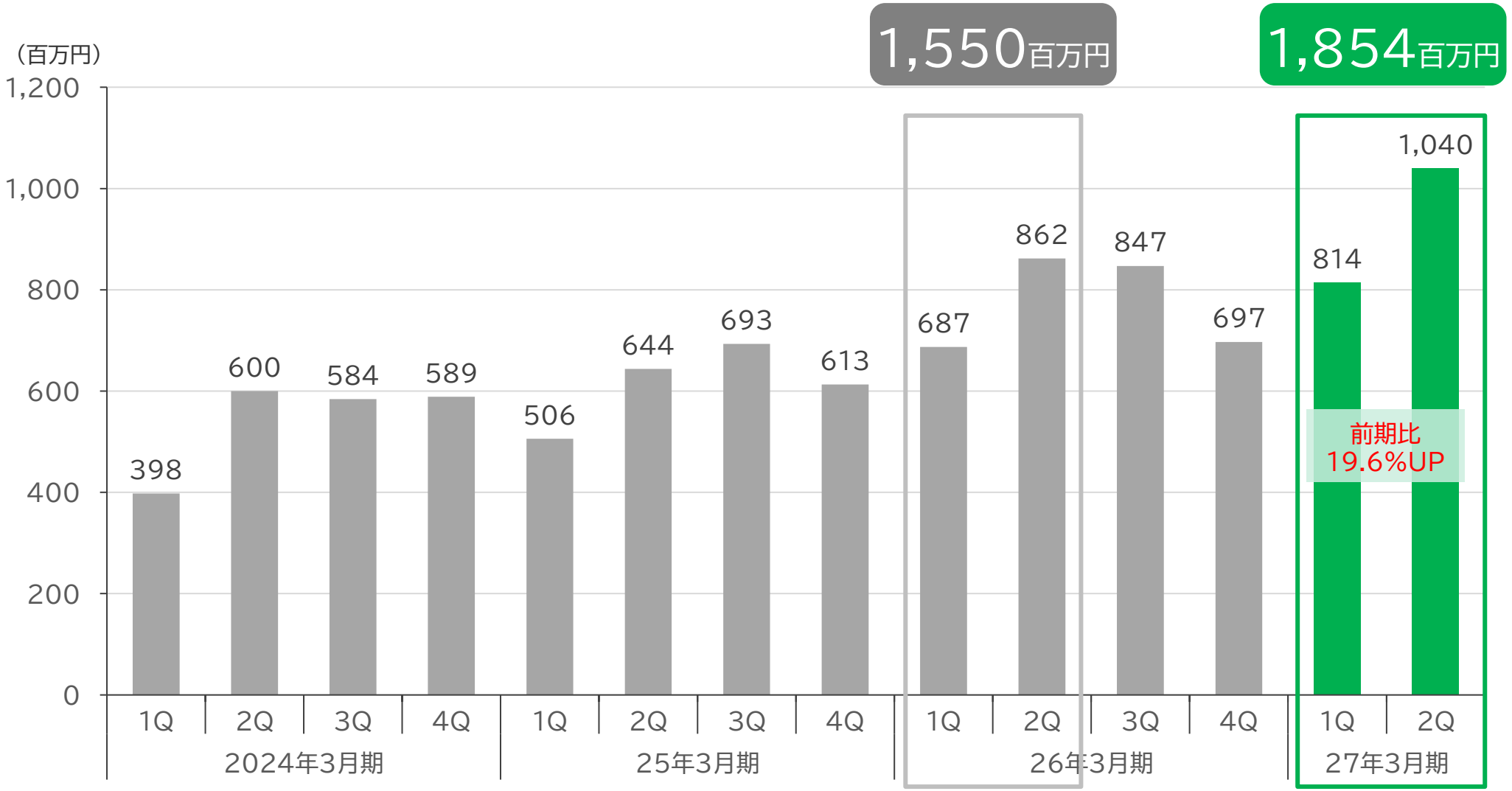
売上高の推移(四半期)

売上高は11年連続で過去最高を更新



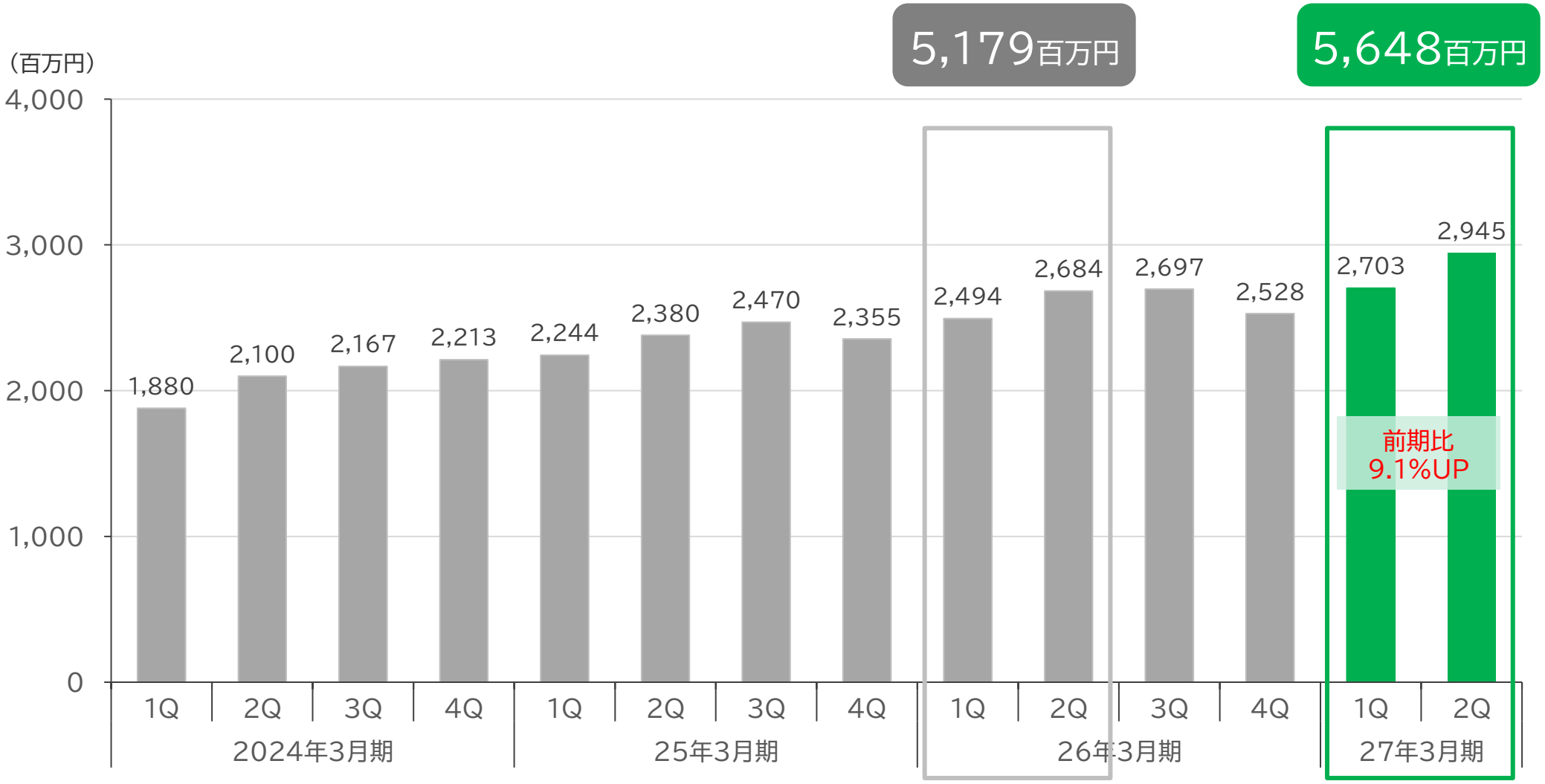
営業利益の推移(四半期)

継続して安定した利益を確保



EBITDA※の推移

EBITDAの推移は着実に向上



※経常利益＋支払利息＋減価償却費

貸借対照表(前期末比)

資産は、拠点開発・レンタル資産の投資により増加
負債は、短期借入金が増加

(百万円)

	2026年3月 期末	2027年3月 第2四半期末	増減額
流動資産	6,341	6,714	373
固定資産	21,393	21,689	296
(うちレンタル資産)	15,131	15,173	42
資産合計	27,734	28,404	669
負債合計	9,123	9,732	609
純資産合計	18,611	18,671	60
負債純資産合計	27,734	28,404	669

キャッシュ・フロー（前年同期比）

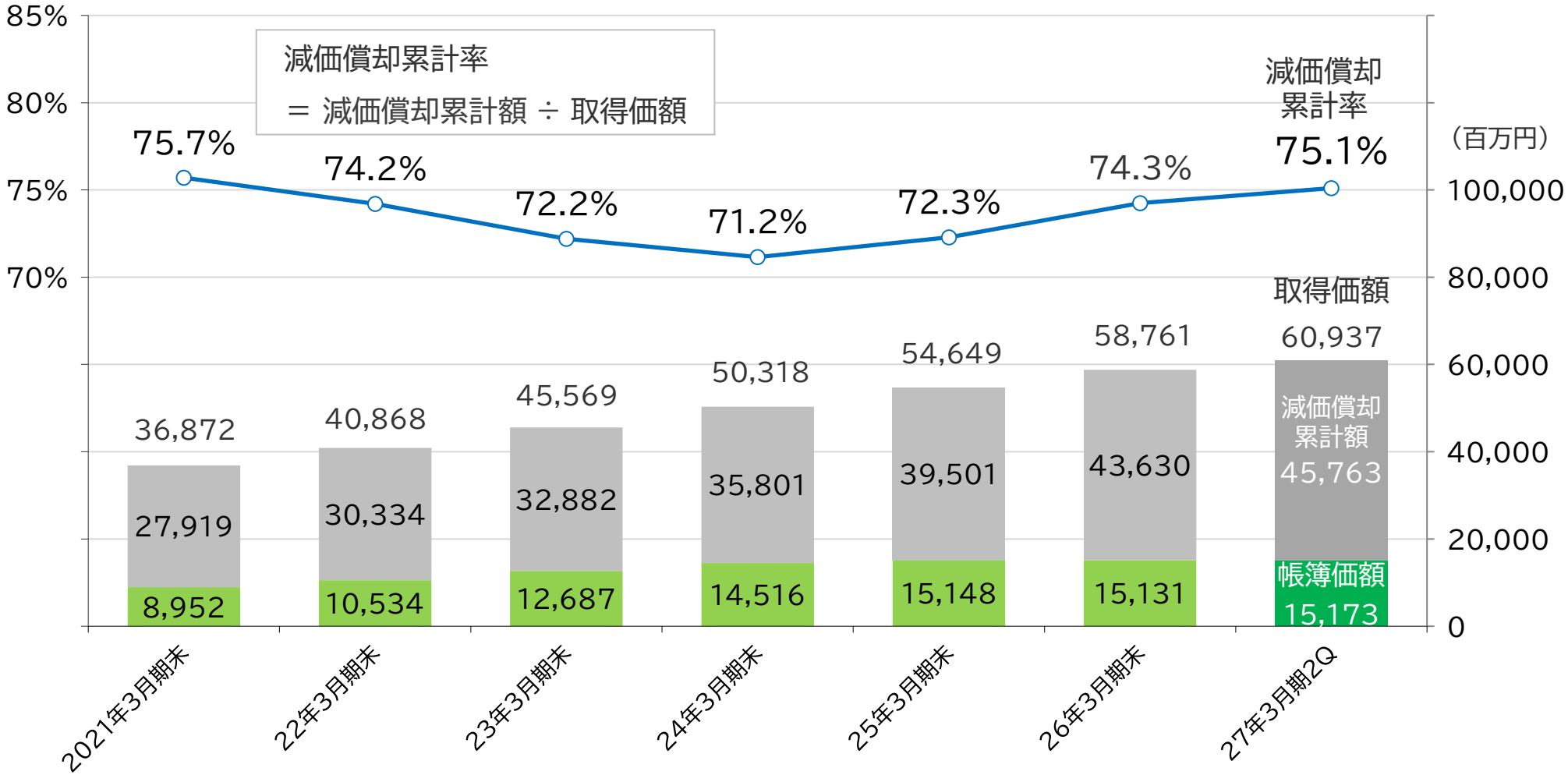
営業C/Fは、レンタル資産の取得による支出が増加
投資C/Fは、拠点開発による固定資産の取得が増加

（百万円）

	2026年3月期 第2四半期累計	2027年3月期 第2四半期累計	増減額
現金及び現金同等物の期首残高	740	692	▲47
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,459	1,082	▲376
（うち減価償却費）	3,599	3,770	170
（うちレンタル資産の取得による支出）	▲3,073	▲3,505	▲431
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲310	▲547	▲237
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲1,237	▲420	816
現金及び現金同等物の期末残高	651	806	154

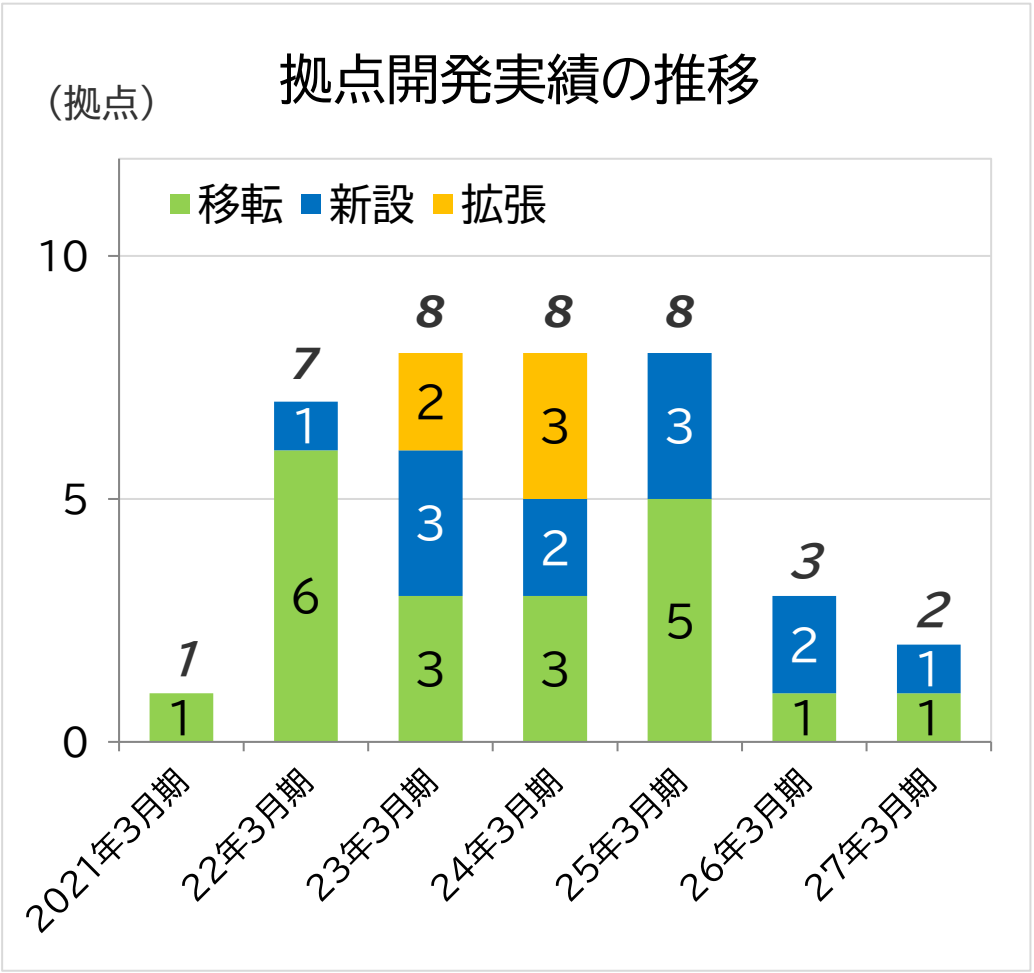
レンタル資産の保有状況の推移

レンタル資産の効率的な運用の結果、減価償却累計率が上昇し利益や営業キャッシュ・フローが改善しやすい状況



拠点ネットワークの強化

後期高齢者が増加する都市部を中心に新規開設や既存拠点大型化の方針のもと移転を推進

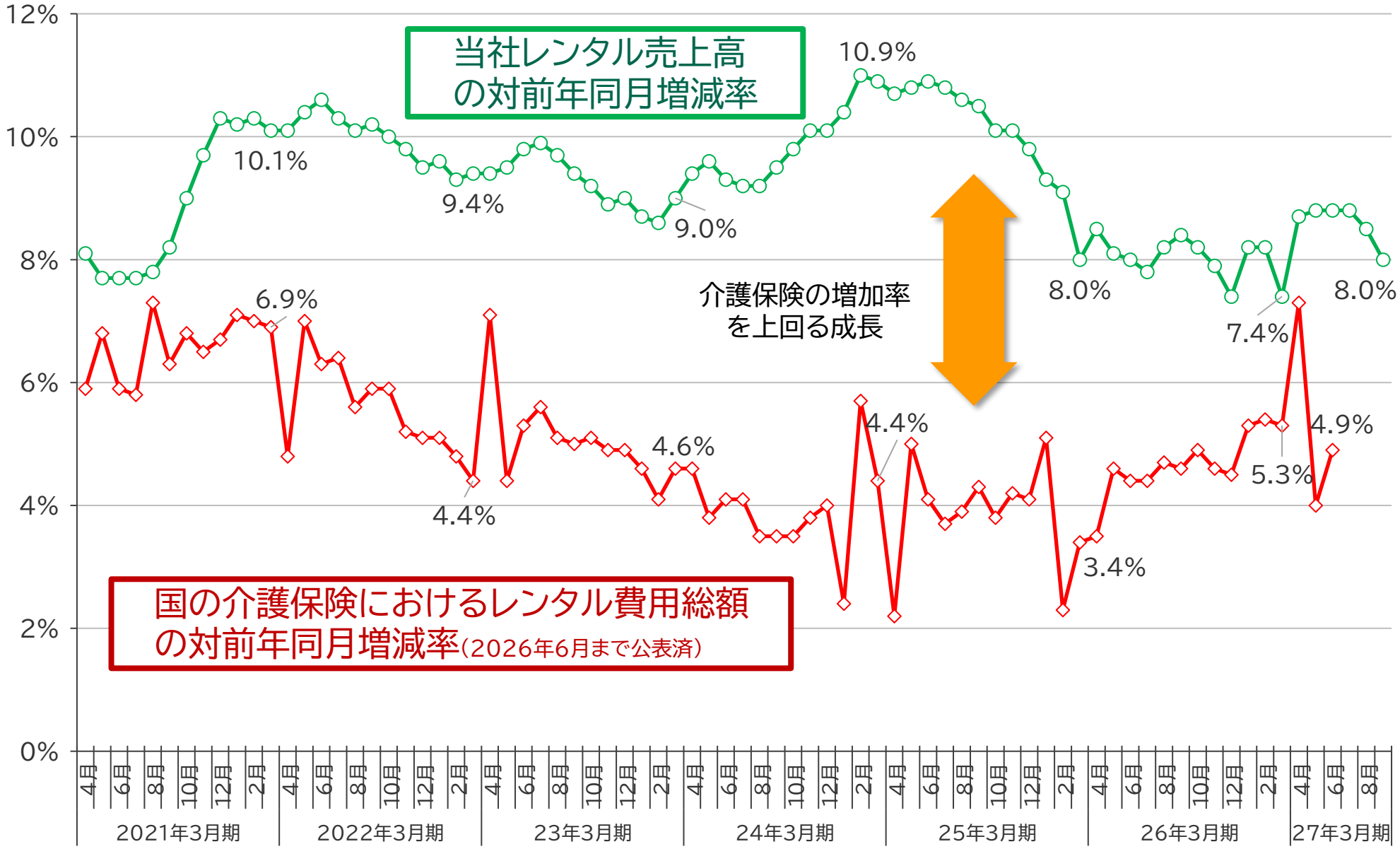


【2027年3月期の拠点開発】

2026年	4月	滋賀営業所	新設
	6月	柏営業所	移転

2026年9月末時点の営業拠点数　100か所

介護保険の福祉用具レンタル需要を上回る成長率



出所:(公)国民健康保険中央会資料より当社作成

2027年3月期　連結業績予想進捗

持続可能な成長と中長期的な企業価値向上を図り、順調に推移
増収増益を目指す

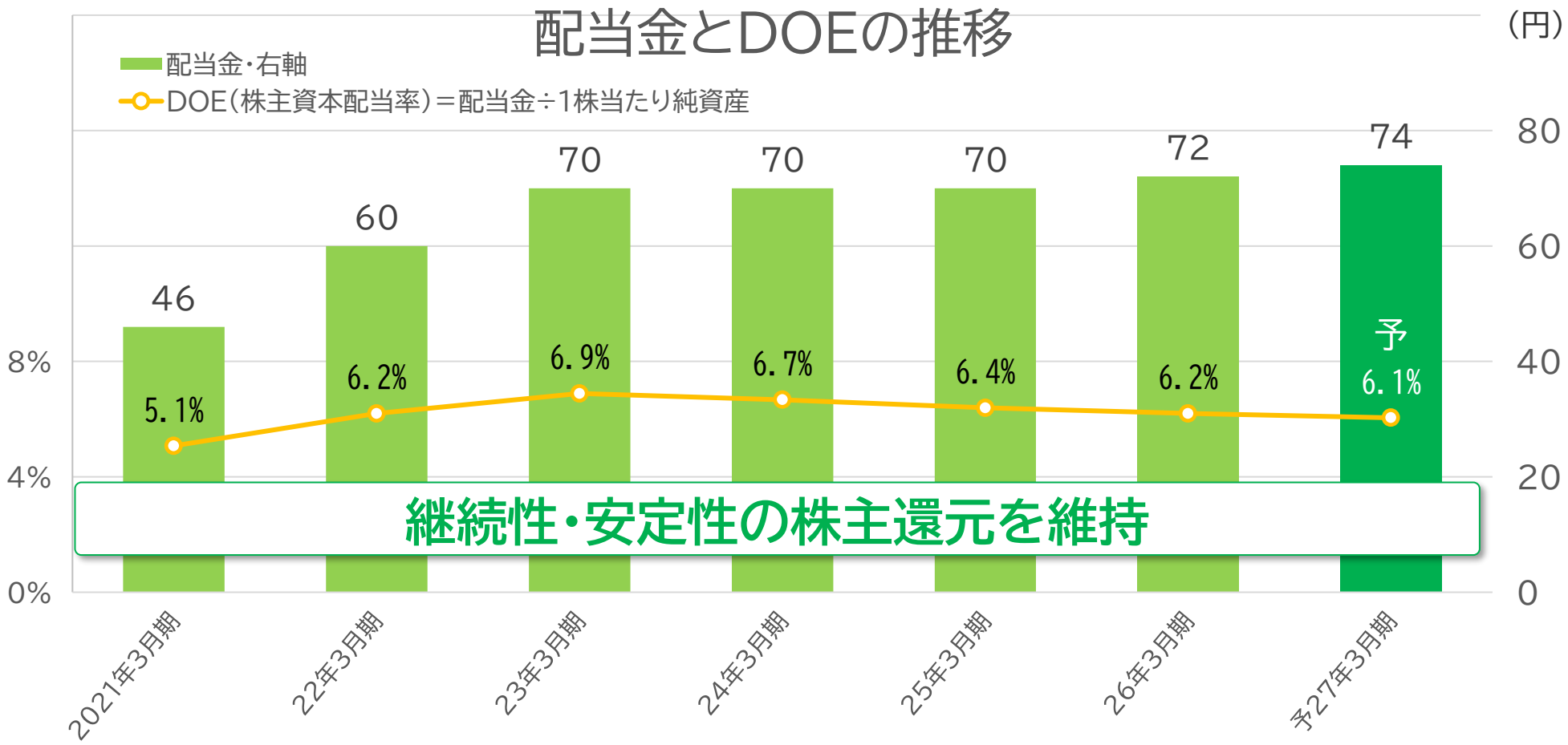
（百万円）

	2027年3月期 業績予想※2	2027年3月期 第2四半期	予想比 進捗率
売上高	37,500	18,785	+50.1%
営業利益	3,450	1,854	+53.7%
経常利益	3,450	1,869	+54.2%
純利益※1	2,300	1,231	+53.5%
1株当たり 当期純利益(円)	148.00	79.24	-

※1　親会社株主に帰属する当期純利益
※2　業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

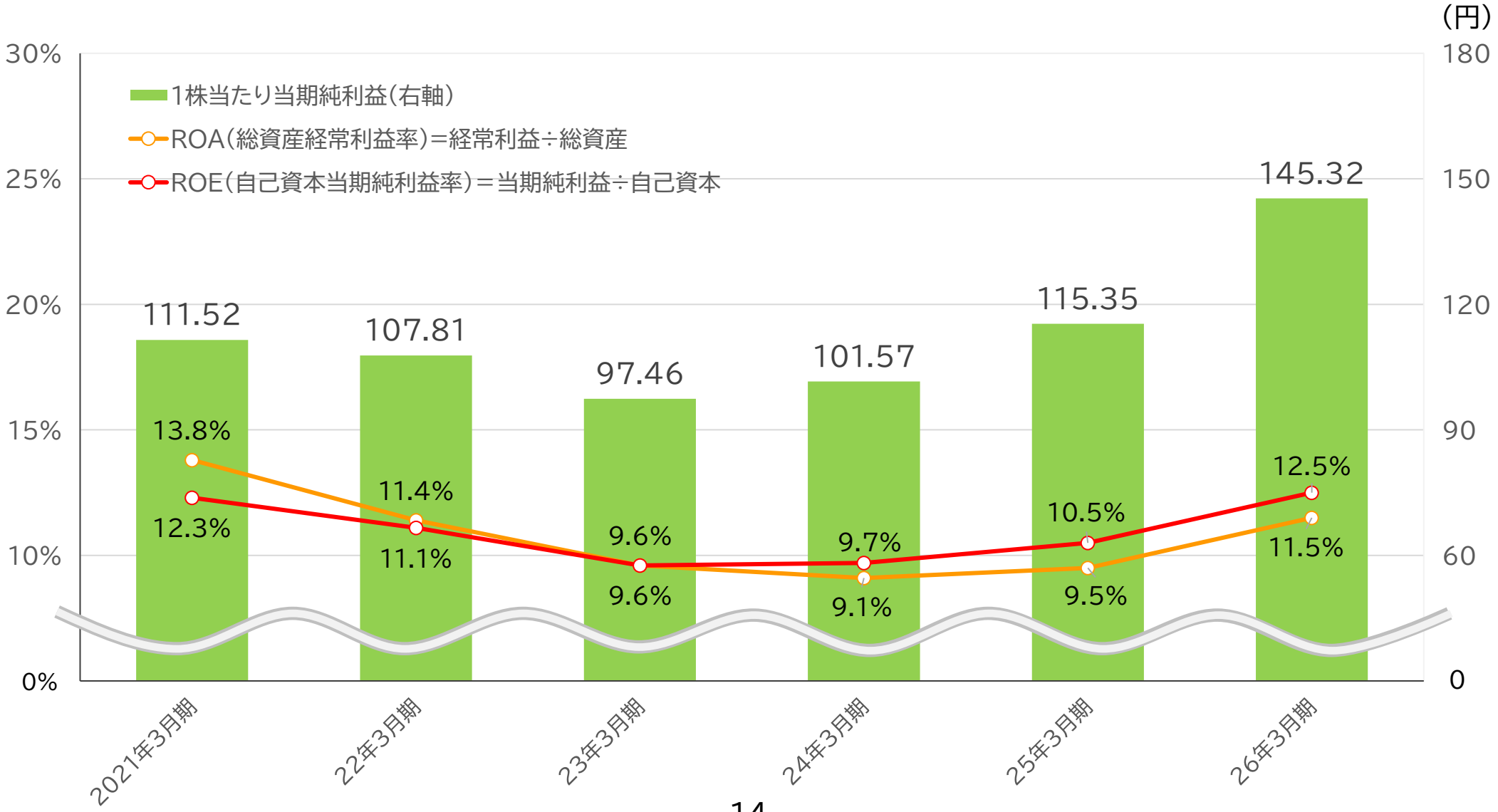
株主還元方針

当社は、株主に対する利益還元を経営の重要な施策として位置付け、累進配当制度を導入及びDOE(株主資本配当率)6%を下限とする目標に基づき、配当を決定することを基本方針としております。



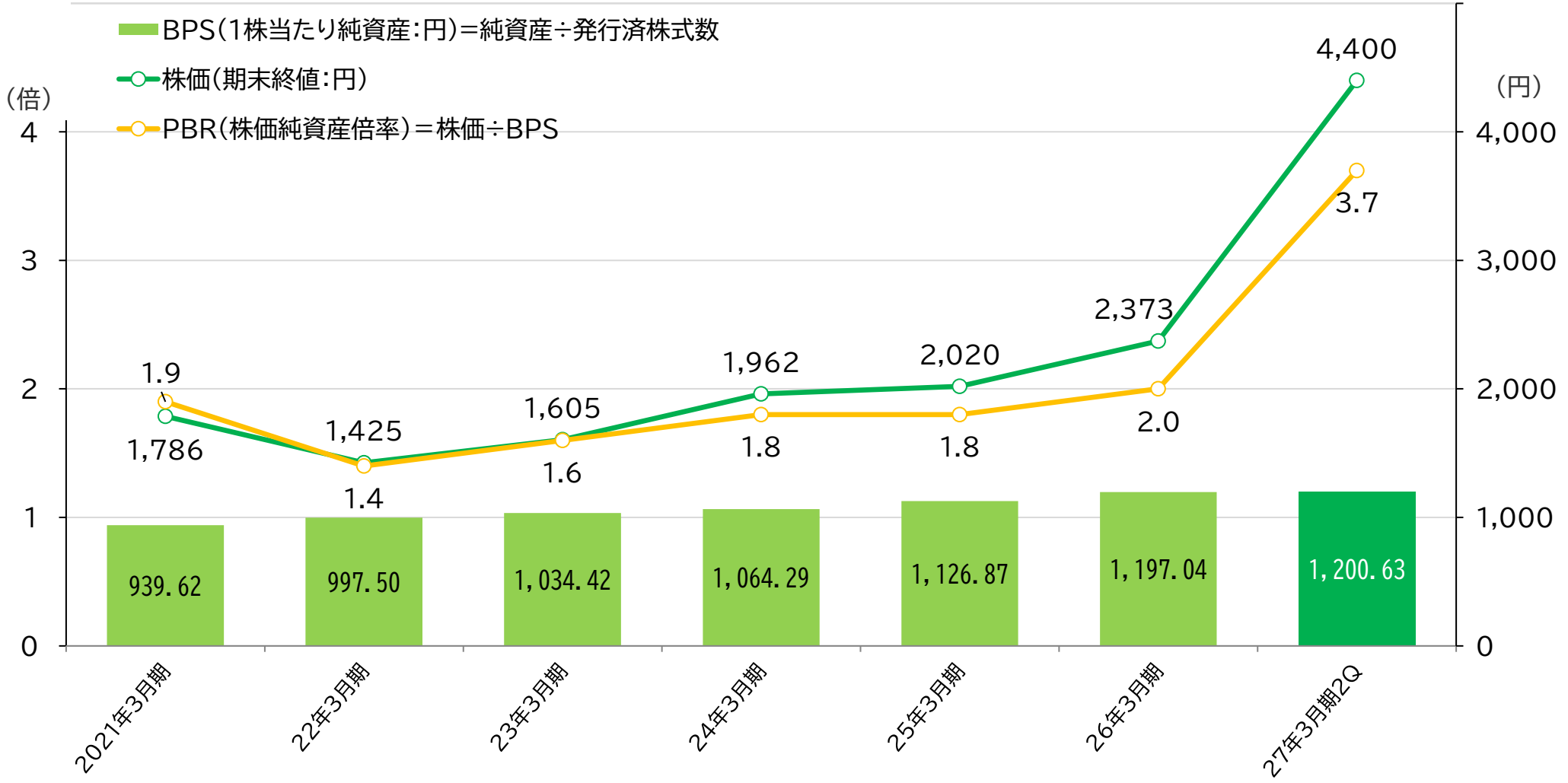
＜参考＞経営指標の推移

ROEは、利益の増加により前年比2ポイント向上



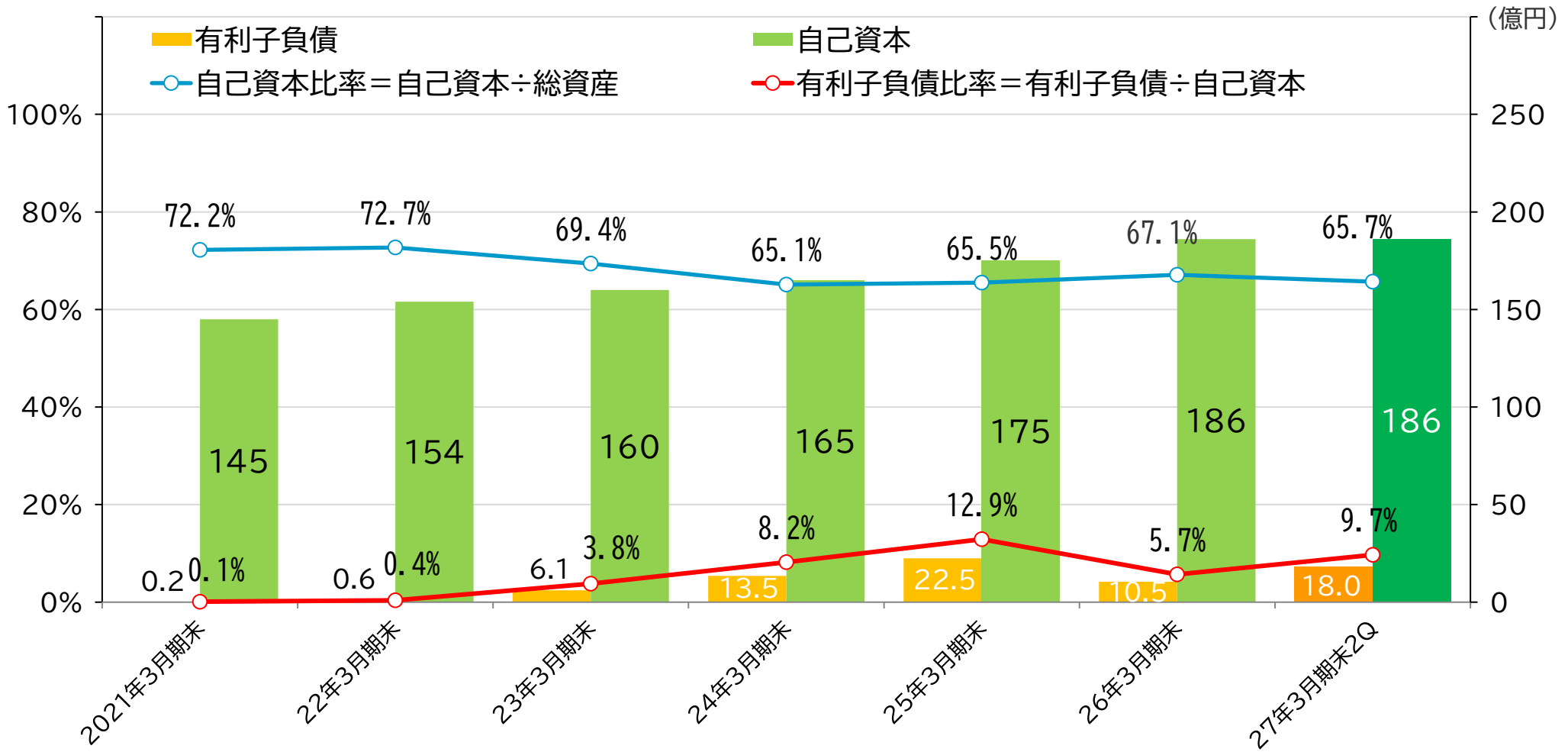
＜参考＞ PBR・BPS・株価の推移

PBR・BPS・株価は、共に増加傾向



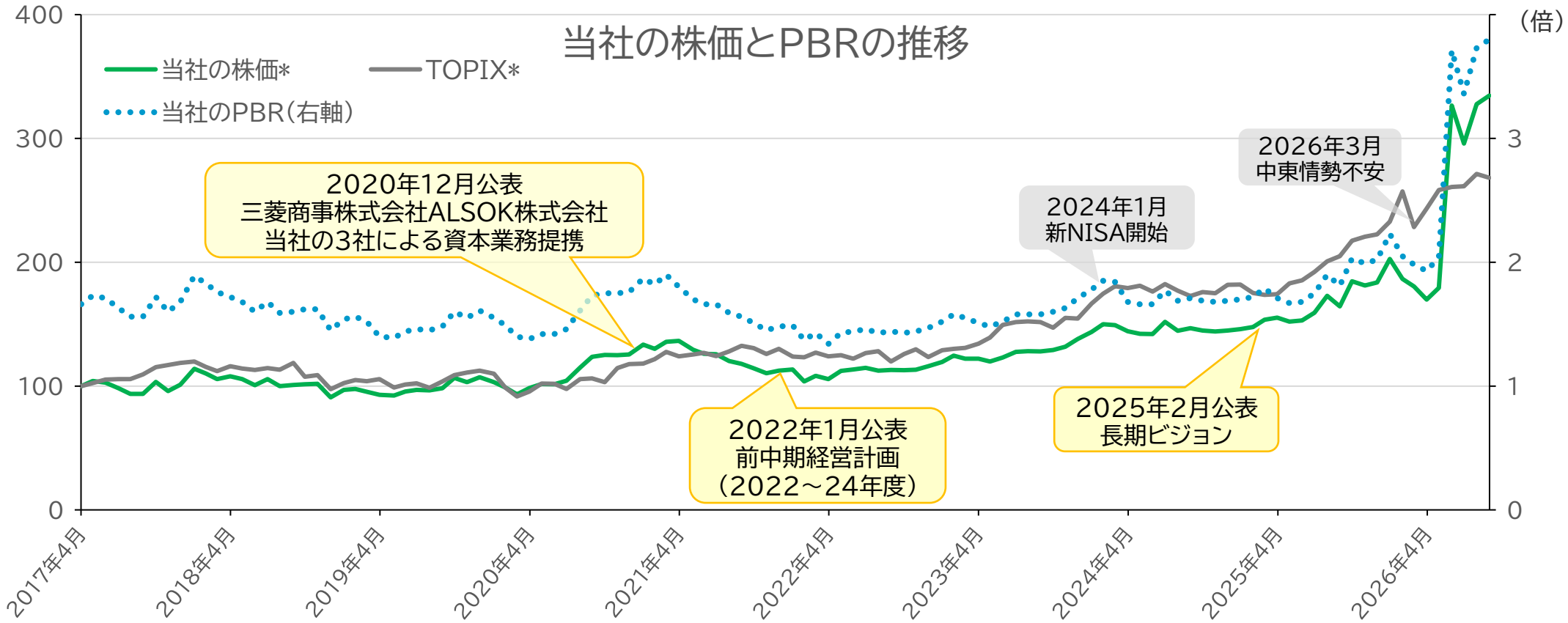
＜参考＞自己資本比率・有利子負債比率の推移

自己資本比率は、60%以上で推移
有利子負債は、納税および配当金支払いにより増加



＜参考＞株価に関連した指標の推移

	2017年4月	18年3月期	19年3月期	20年3月期	21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	26年3月期	27年3月期 2Q
当社の期末株価(円)	1,315	1,390	1,254	1,227	1,786	1,425	1,605	1,962	2,020	2,373	4,400
期末TOPIX	1,531.80	1,716.30	1,591.64	1,403.04	1,954.00	1,946.40	2,003.50	2,768.62	2,658.73	3,497.86	4,108.65
当社の期末PBR(倍)	1.7	1.8	1.5	1.4	1.9	1.4	1.6	1.8	1.8	2.0	3.7



*当社の株価とTOPIXは、2017年4月を「100」として指数化

＜参考＞長期ビジョン「けあさぷVISION2040」(2025年2月公表)

外部環境の認識

高齢者人口増、労働者人口の減少

- 医療・介護費の増加
- 団塊世代ジュニアの高齢化
- 都市部と地方との格差が拡大
- 独居(特に男性)世帯の増加
- 中国などアジア地域の高齢化進展

ニーズの多様化

- 自立した生活を望む高齢者の増加
- 地域の実情に合わせた介護保険外サービスの創出
- 医療・介護の予防意識向上、生活習慣の改善

- SDGsの次は、SWGs

テクノロジーの発展

- デジタル技術の進歩
- 技術革新が産業構造に影響
- 脱炭素社会の実現による生活環境の変化

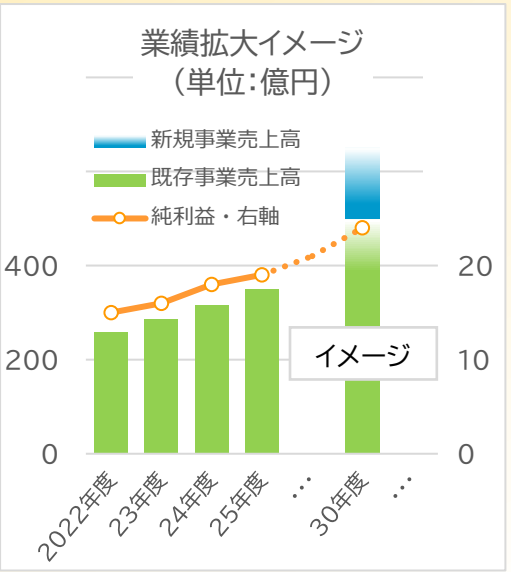
2030年に向けたキャッシュ・アロケーションと財務戦略

キャッシュ・アロケーション

キャッシュイン	キャッシュアウト
EBITDA	株主還元
	成長投資 既存事業
資金調達	新規事業 (M&A等)
	人的投資

財務戦略

業績拡大	売上高のオーガニック成長6%以上 当期純利益はCAGR5%
M&A	業界水平統合、高齢者支援サービス事業の基盤整備
資本コスト水準	エクイティスプレッド5%以上
配当政策	累進配当制導入、DOE6%を下限
財務レバレッジ	借入金を活用
PBR/PER	分析と改善策への取組み



＜参考＞サステナビリティへの取り組み（2030年度目標）

当社は、従来の資源を有効活用する循環型ビジネスである福祉用レンタルビジネスの推進に加え、以下の「サステナビリティに関する基本方針」に基づき、重点課題を継続的に取り組みます。

～サステナビリティに関する基本方針～

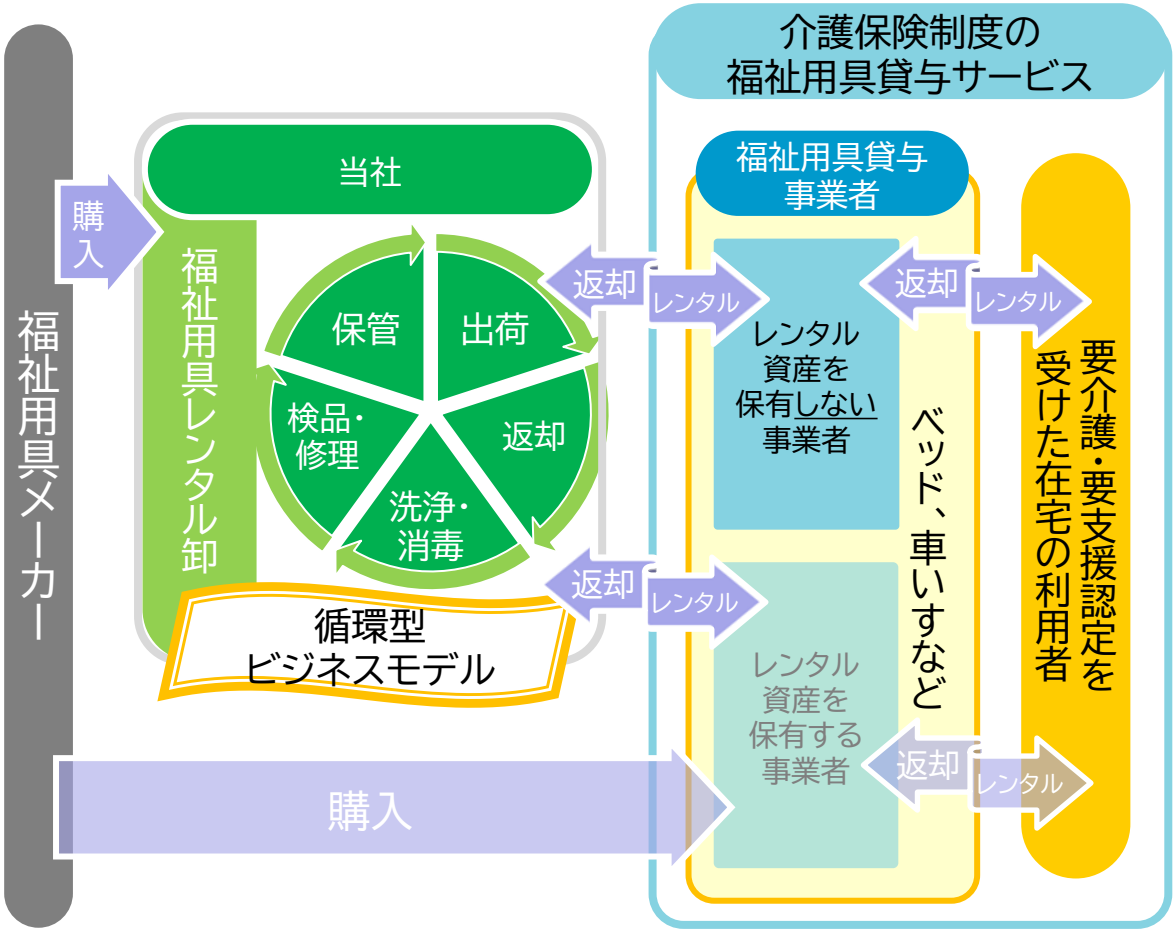
私たちは、社是である「健康長寿社会への貢献」を存在意義と定め、ステークホルダーの皆様との協働により、豊かな暮らしに役立つ商品やサービスの提供によって、社会課題の解決に挑みます。
そして、新しい価値の創造と健全な事業活動を通じて、中長期的な企業価値向上を追求し、持続可能な社会の実現に貢献することを目指します。

重点課題	目標※
Environment 環境	・GHG排出量：政府目標に準じて半減 ・売上高エネルギー使用量比率（kl/億円） ・売上高廃棄物総量比率（t/億円） ：省エネ法の努力義務及び目標に準じて、毎年1%程度削減
Social 社会	・重大労働災害件数：0件 ・人材開発投資額（外注費用）：倍増（28千円/人） ・有給休暇取得率：70% ・育休取得率、復帰率：100%
Governance 企業統治	・コンプライアンス違反件数：0件 ・情報セキュリティ事故件数：0件 ・個人情報漏洩件数：0件

※目標値は、2022年度＋αを基準に2030年度目標を表示しております。新たな目標値策定の際は、内容を更新します。

＜参考＞福祉用具サービス（ビジネスモデル図）

当社が手掛ける福祉用具レンタル卸事業は、介護保険の対象となるベッド、車いす等の福祉用具を地域の「福祉用具貸与事業者」（以下、事業者）にレンタルし、さらに「事業者」が自宅で暮らす「利用者」に貸出します。使用後返却された福祉用具は、当社が洗浄・消毒、検品・修理して、再び「事業者」に貸出すリサイクルシステムです。資源を有効利用する循環型のビジネスモデルであり、当社が先駆けとなってこの仕組みを確立しました。



2024年4月からレンタル対象の福祉用具のうち3種目（スロープ・歩行器・歩行補助杖の一部）でレンタル・購入の選択制を導入

▲介護保険対象の福祉用具イメージ図

＜参考＞高齢者生活支援サービス（食事サービス）

病院や介護施設の調理業務を省力化 おいしさでご利用者に笑顔をお届け

- 「バランス弁当」の商品ラインアップは、160種以上と充実
- 事業拡大を見据えた物流倉庫の設置し、配送コストを削減

商品のご紹介

上段左から
- やわらか食　噛む力が弱くなった方向けのやわらかいおかずセット
- 朝ごはん　朝食向けの小容量のおかずセット
- ムース食　飲込む力が弱くなった方向けの舌でつぶせるやわらかさのおかずセット

下段左から
- ふつう食　栄養バランスを確保しながら、様々な食材の組み合わせのおかずセット
- 採食弁当　平均450kcalのごはん付きのお弁当

俳優・歌手の由美かおるさんが、「バランス弁当」のアンバサダーに就任

▲由美かおるさんを起用したポスター

由美かおるさんには、上記ポスター制作のほか「バランス弁当」を納めている介護施設へのご訪問などを通じて、販促活動にご協力を頂いております。

＜参考＞フィッティング付おむつ配送サービス「おむピタ」

ご自宅にお住いの高齢者のおむつ漏れをゼロにしたい

おむピタ® ってどんなサービス？

- おむつメーカーのプロが、**おむつ選定**と**使い方**をご提案
- ピッタリなおむつが見つかるまで**無料でお試し可能！**
- ご注文いただいたおむつは、**自宅へ直送！別途送料もなし！**

＜参考＞高齢者生活支援サービス（ALSOKとの取組み）

資本業務提携先のALSOKと相互の拠点網や顧客基盤を活用し拡販を推進

＜施設向け家具（インテリアコーディネート）＞

＜特殊浴槽＞

＜リラクゼーション機器＞

＜リハビリ機器＞

＜BCP対策機器＞

▲販売商材の一例

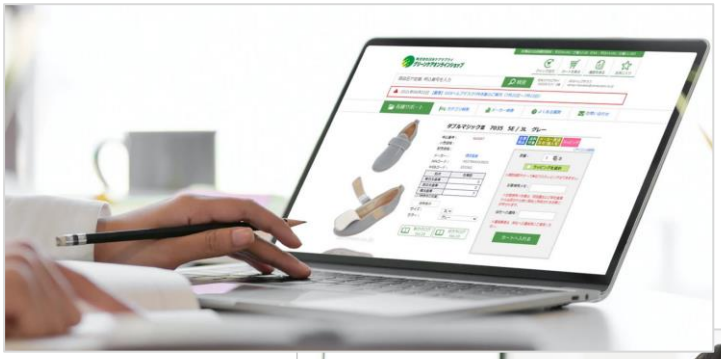
＜参考＞介護事業者支援

介護サービスの質の向上・効率化
グリーンケア フォーラム プレミアム

・法定研修、オンデマンドのスキルアップセミナー、業務効率化支援ツールを有償にて提供

厳選した生活関連商品を販売
グリーンケア オンラインショップ

・20万アイテムを超える充実した品揃え
・在庫商品は、平日16時までのご注文で当日出荷
・ヘルプデスクが丁寧にサポート



▲注文画面のイメージ

▼問合せ対応のイメージ

＜参考＞プロスポーツ選手との所属契約

プロゴルファーの木戸 愛(きど めぐみ)選手と所属契約により支援

大会では、当社のロゴを付けたキャディバッグや帽子などを使用するほか、当社が開催するイベントや広報活動へのご協力頂いております。今後のさらなる活躍を支援してまいります。

木戸 愛 選手

＜主な経歴・最近の成績＞
・2008年　プロテスト合格
・2009年　ステップアップツアー「マルナカレディース オリーブカップ」優勝
・2012年　「サマンサタバサガールズコレクション・レディーストーナメント」初優勝
・2012～19年　8年間シード権を獲得
・2025年　「資生堂・JAL レディス」2位
「CAT Ladies」 2位タイ
「PLAY OF THE MONTH(7月度)」
メルセデス・ランキング　38位
・2026年　シード権を獲得
「KKT杯バンテリンレディス」3位タイ
「ヨネックスレディス」2位タイ
「ニチレイレディス」4位タイ
「ゴルフ5レディース」 2位
「ミヤギテレビ杯ダンロップ」2位

本資料に関する注意事項

本資料に記載されている予想等は、現時点で入手可能な情報に基づいたものであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。
そのため、実際の業績は、様々な要因の変化により異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

本資料に関するお問い合わせ先

株式会社日本ケアサプライ
経営企画室　IR担当
TEL　03-5733-0381

健康長寿社会への貢献